【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2003-238763(P2003-238763A)
【公開日】平成15年8月27日(2003.8.27)
【出願番号】特願2002-38599(P2002-38599)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０８Ｌ　51/00
　Ｃ０８Ｆ　 2/44
　Ｃ０８Ｆ 265/06
　Ｃ０８Ｊ　 5/18
　Ｃ０８Ｌ　33/06
　Ｃ０８Ｌ 101/00
【ＦＩ】
　Ｃ０８Ｌ　51/00
　Ｃ０８Ｆ　 2/44　　Ｃ
　Ｃ０８Ｆ 265/06
　Ｃ０８Ｊ　 5/18　　ＣＥＹ
　Ｃ０８Ｌ　33/06
　Ｃ０８Ｌ 101/00

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月15日(2005.2.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　炭素数１～８のアルキル基を有するアルキルアクリレートと架橋性単量体とを含有する単量体を重合して得られる架橋弾性重合体（ａ）１質量部を越え７０質量部未満の存在下に、炭素数１～４のアルキル基を有するアルキルメタクリレートを含有する単量体（ｂ）３０質量部を越え９９質量部未満[但し（ａ）と（ｂ）の合計量１００質量部]を重合することにより得られる弾性体含有多層重合体（Ｉ）１～９９質量％と、
　炭素数１～８のアルキル基を有するアルキルアクリレートと架橋性単量体とを含有する単量体を重合して得られる架橋弾性重合体（ａ’）７０～９９質量部の存在下に、炭素数１～４のアルキル基を有するアルキルメタクリレートを含有する単量体（ｂ’）を１～３０質量部[但し（ａ’）と（ｂ’）の合計量１００質量％]を重合することにより得られる弾性体含有多層重合体（II）９９～１質量％と、
　他の熱可塑性樹脂０～９８質量％（III）［但し（Ｉ）～（III）の合計量１００質量％］とを含有し、
　更にアルキル基の炭素数が１～１８のメタクリル酸アルキル単量体単位及び／又はアクリル酸アルキル単量体単位と、それと共重合可能なビニル系単量体単位とからなり、２５℃での還元粘度（ηｓｐ／Ｃ）が３未満であるアクリル系高分子量共重合体（Ａ）を、（Ｉ）～（III）の合計量１００質量部に対して０．１～５質量部配合するとともに、
　アルキル基の炭素数が１～１８のメタクリル酸アルキル単量体単位及び／又はアクリル酸アルキル単量体単位と、それと共重合可能なビニル系単量体単位とからなり、２５℃での還元粘度（ηｓｐ／Ｃ）が３以上であるアクリル系高分子量共重合体（Ｂ）を、（Ｉ）

～（III）の合計量１００質量部に対して０．５～１０質量部配合してなる熱可塑性樹脂組成物。

【請求項２】

熱可塑性樹脂（III）を５０～９０質量％含有することを特徴とする請求項１記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項３】

熱可塑性樹脂（III）が、炭素数１～４のアルキル基を有するアルキルメタクリレートを含有する単量体を重合して得られる、還元粘度が０．１ｌ／ｇ以下であるメタクリル系樹脂であることを特徴とする請求項１又は２記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項４】

請求項１～３の何れか１項記載の熱可塑性樹脂組成物から成るカレンダー成形用熱可塑性樹脂組成物。

【請求項５】

請求項１～３の何れか１項記載の樹脂組成物から成る押出成形用熱可塑性樹脂組成物。

【請求項６】

請求項１～３の何れか１項記載の熱可塑性樹脂組成物を成形して得られるフィルムまたはシート。

【請求項７】

請求項１～３の何れか１項記載の熱可塑性樹脂組成物をカレンダー成形することにより得られたフィルムまたはシート。

【請求項８】

請求項１～３の何れか１項記載の熱可塑性樹脂組成物を押出成形することにより得られたフィルム、シートまたは異型成形品。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

すなわち本発明の要旨は、炭素数１～８のアルキル基を有するアルキルアクリレートと架橋性単量体とを含有する単量体を重合して得られる架橋弾性重合体（ａ）１質量部を越え７０質量部未満の存在下に、炭素数１～４のアルキル基を有するアルキルメタクリレートを含有する単量体（ｂ）３０質量部を越え９９質量部未満[但し（ａ）と（ｂ）の合計量１００質量部]を重合することにより得られる弾性体含有多層重合体（Ｉ）１～９９質量％と、

炭素数１～８のアルキル基を有するアルキルアクリレートと架橋性単量体とを含有する単量体を重合して得られる架橋弾性重合体（ａ’）７０～９９質量部の存在下に、炭素数１～４のアルキル基を有するアルキルメタクリレートを含有する単量体（ｂ’）を１～３０質量部[但し（ａ’）と（ｂ’）の合計量１００質量％]を重合することにより得られる弾性体含有多層重合体（II）９９～１質量％と、

他の熱可塑性樹脂０～９８質量％（III）［但し（Ｉ）～（III）の合計量１００質量％］とを含有し、

更にアルキル基の炭素数が１～１８のメタクリル酸アルキル単量体単位及び／又はアクリル酸アルキル単量体単位と、それと共重合可能なビニル系単量体単位とからなり、２５℃での還元粘度（ηｓｐ／Ｃ）が３未満であるアクリル系高分子量共重合体（Ａ）を、（Ｉ）～（III）の合計量１００質量部に対して０．１～５質量部配合するとともに、

アルキル基の炭素数が１～１８のメタクリル酸アルキル単量体単位及び／又はアクリル酸アルキル単量体単位と、それと共重合可能なビニル系単量体単位とからなり、２５℃での還元粘度（ηｓｐ／Ｃ）が３以上であるアクリル系高分子量共重合体（Ｂ）を、（Ｉ）～（III）の合計量１００質量部に対して０．５～１０質量部配合してなる熱可塑性樹脂

組成物にある。